

センチュリーLELガンアッセンブリー

取扱説明書

型式: 102-3600FRP

型式: 102-3610 ジェルコート

型式: 102-3650 樹脂充填

型式: 102-3655FRP チョップ

型式: 102-3665 樹脂充填チョップ



最高使用圧力	
主剤/ジェルコート	24MPa
硬化剤	0.7MPa
エア	0.7MPa

センチュリーLELガンには下記部品が含まれます。

111-4052	レンチ
102-3605	ナイトキャップ
106-1251	キット
OMX-88	平型ブラシ
82-469	円形ブラシ

硬化剤入口	: 1/4NPS(M)
チョッパーエア入口	: 1/4NPS(M)
エアアシスト入口	: 1/4NPS(M) / 1/4NPT(M)
主剤入口	: (102-3600、102-3610) 1/4NPS(M) (102-3650) 3/8 NPS(M)

⚠ 警告

センチュリーLEL ガンをご使用になる前に、本パーツリストに記されている全ての注意事項に目を通し、内容を理解しておいてください。

ビンクス センチュリー LEL (Low Emission Laminator: 低排出積層) ガンは、ポリエステルやその他の硬化樹脂の塗布を行う、高性能かつ「非霧化」内部混合塗布装置です。「LEL」または「LEL 技術」と記された全てのビンクスブランドの塗布装置は、低圧の衝突流体流れを利用して低速樹脂を生成し、またジェル塗装ファンを利用しているため EPA (NESHAP 40 CFR part 63) によって非霧化と定義されています。

安全上の注意事項

本パーツリストにおいては、**警告**、**注意**、**注意事項**という表記は、下記のように重要な安全情報を強調するのに使用されています。

 警告	 注意	注意事項
重傷、死亡事故または重大な器物破壊を招く危険な行為または安全でない行為を示します。	軽傷、製品または器物破壊を招く危険な行為または安全でない行為を示します。	設置、操作または保守に関する重要な情報を示します。

警告



取扱説明書をお読みください

塗布装置を操作する前に、取扱説明書に記載されている安全、操作および保守に関する全ての情報をお読みいただき、理解してください。



安全メガネ着用

サイドシールド付きの安全メガネを着用しないと、眼の負傷または失明を招く可能性があります。



保守中は全ての電源、接続を切断、減圧、ロックする

装置の保守を行う前に、全ての電源、接続を切断してロックしておかないと、重傷や死亡事故を招く可能性があります。



操作員の訓練

塗布装置の全ての作業者は、操作をする前に訓練を受ける必要があります。



装置の誤用による危険

装置の使い方を誤ると、装置の破損、誤作動または予期せぬ作動が発生し、重傷につながる危険性があります。



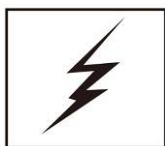
装置保護具の適切な場所への設置

安全装置が正しく設置されていない場合は、装置を操作しないでください。



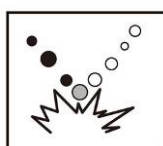
高圧力対策

高圧力は重傷を招く原因となる場合があります。保守を行う前には、全ての圧力を減圧してください。スプレーガンからの吹き付きや、ホースからの液漏れ、破損した部品によって人体に塗料を噴出してしまうと、重傷を招く可能性があります。



静電気対策

塗料は帯電する可能性があるため、作業領域にある装置類や被塗物、その他導電性の物は適切に接地してください。不適切な接地や火花は危険で、火災、爆発、感電その他の重傷につながる可能性があります。



多液の危険性

使用できる化学物質の数が多く、化学反応が多岐にわたるため、本装置の購入者および使用者は、潜在的な危険性と、扱う物質に関して全て把握しておく必要があります。



騒音の危険性

大音量が人的損傷を引き起こす場合があります。本装置を使用する場合は、聴覚保護具を使用してください。



火災と爆発の危険性

装置の不適切な接地、不十分な換気、火気、火花などが危険で、火災や爆発、重傷につながる可能性があります。



指を挟む危険性

稼動部に指を挟むと、押しつぶされたり、切断される可能性があります。全ての稼動部には指を挟む危険性があります。

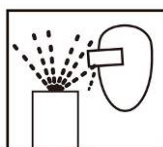


緊急時の装置の停止方法と、遮断箇所について把握しておくようにしてください。



減圧手順

必ず、装置の取扱説明書に記載された減圧手順を守ってください。



発射物の危険性

高圧で放出される塗料やガスまたは飛んでくる破片によって負傷する場合があります。



有毒な塗料または蒸気

危険性のある塗料または有毒な蒸気が眼や皮膚に付着したり、誤って吸い込んだり飲み込んだりすると、重傷や死亡事故につながります。使用する塗料の危険性に関して習得しておいてください。

警告

ピンクスの装置でメチルエチルケトン過酸化物を含む可塑剤を使用する場合は、次の点に注意してください。
 眼に対する腐食性：眼に入ると失明する可能性があります。誤って飲み込むと命にかかわる場合があります。
 強い刺激性があります。汚染または熱によって、火災または爆発的分解を引き起こす場合があります。
 可燃性です。

 メチルエチルケトン注意をよくお読みになり、内容を理解したうえで取り扱ってください。 異物、特に強力な鉱酸や金属(設備や容器を含む)または金属塩と接触したり、57°C 以上の熱にさらされたりすると、激しい化学的分解が発生し、自己着火の可能性のある可燃性蒸気が放出されます。 眼に入ったり、皮膚や衣服に付着したりしないように注意してください。 取り扱い時には、保護メガネをかけ、皮膚を保護してください。 霧化液を吸い込まないようにしてください。換気を十分に行ってください。 保管時は必ず密閉された元の容器を使用してください。取り扱い後は、よく手を洗ってください。直射日光、熱、火花やその他の発火源となるものから保護してください。 異物の汚染を予防してください。 熱くなった物質に加えないでください。	 化学的活性を維持するためには、38°C 未満で保管してください。火災が発生した場合、消火には水を噴霧するか、化学泡消化剤または粉末消化剤を使用してください。こぼれたり、漏れたりした場合は、吸い取るか不活性な非可燃性物質と混ぜて適切な容器に収納します。国または地方自治体の規制に従って、速やかに処理してください。元の有害物質が残っている可能性があるため、容器は再利用しないでください。上記の注意事項を守って正しく取り扱ってください。
応急処置 眼 : すぐに(数秒以内に)水で最低 15 分間は洗ってから医師の診察を受けてください。 皮膚 : 石鹼と水で洗います。汚染された衣服や靴を脱いで、再度石鹼と水で十分に洗い流してください。 誤飲 : 大量の牛乳または水を飲ませ、すぐに病院で胃洗浄を受けてください。	

■材料メーカーの安全データシートをお読みいただき、内容を理解しておいてください。

警告

ピンクスセンチュリー「LEL」ガンはアルミ合金部品でできているため、ハロゲン化炭化水素系溶剤を使用しないでください。



ハロゲン化炭化水素系溶剤は、加圧式または密閉式流体装置(ポンプ、ヒータ、フィルタ等)のアルミ部品と接触すると爆発する可能性があります。
 同様に、圧力タンク内の亜鉛メッキ塗料も爆発を引き起こす可能性があります。不燃性爆発の可能性は、動作温度が高いほど高くなります。
 この爆発は、人的傷害や死亡事故、重大な器物損壊をもたらす程の強さです。
 洗浄剤や塗料、接着剤にはハロゲン化炭化水素系溶剤が含まれている場合があります。詳しくは、使用する溶剤や塗料の供給業者にお問い合わせください。
 アルミ部品や亜鉛製の接液部品を使った加圧式流体装置でハロゲン化炭化水素系溶剤を使用している場合は、直ちに次の措置を講じてください。
 1. 全ての圧力を抜きます。装置全体から塗料を排出し、接続を外します。
 2. 全て検査し、腐食した部品は交換します。
 3. 溶剤供給業者に連絡して非ハロゲン化溶剤を取り寄せ、装置の洗浄を行って全ての残留物を取り除きます。

ハロゲン化溶剤とは、次のいずれかの成分を含む炭化水素系溶剤を指します。

塩素	“CHLORO” (Cl)	フッ素	“FLUORO” (F)
臭素	“BROMO” (Br)	ヨウ素	“IODO” (I)

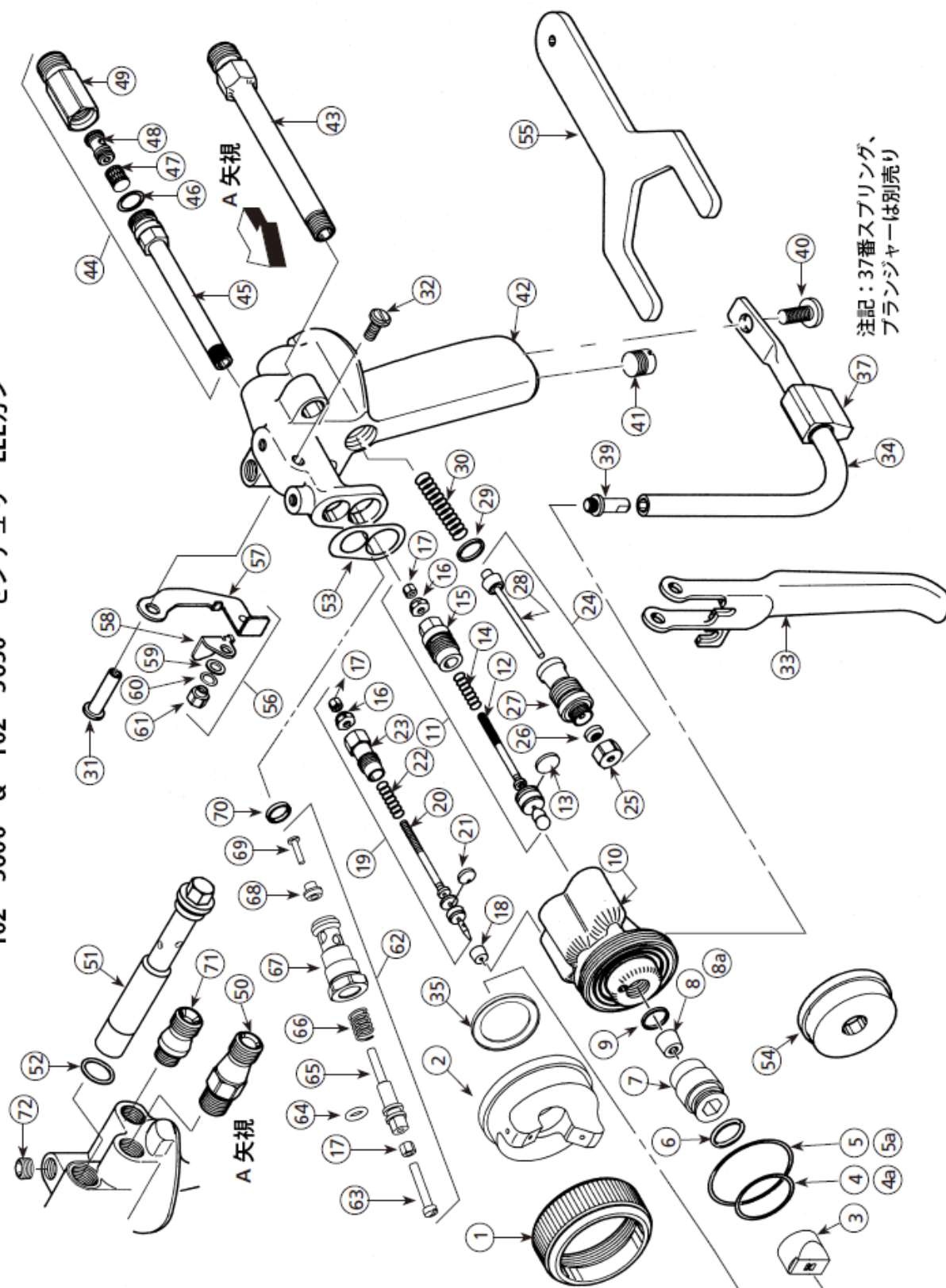
上記の中で、洗浄剤または、接着剤や塗料の溶剤としてよく使われるのは、塩化溶剤です。中でも最も一般的なのは以下です。

- 塩化メチレン
- 1,1,1-トリクロロエタン
- パークロロエチレン

溶剤によっては、安定剤を追加することで腐食性を低減しているものもありますが、あらゆる条件下でアルミ部品や亜鉛メッキ塗装剤に対する反応を防げるものは知られていません。

以前に加圧条件下でその溶剤を使用して事故も起きなかったからといって、必ずしも安全というわけではありません。

102-3600 & 102-3650 センチュリーLELガン



型式 102-3600 ガン 部品表

項番	型番	名称	数量
1	102-2434	エア／硬化剤キャップ リテーナーリング	1
2	102-3602	エア／硬化剤キャップ組	1
3		フルイドノズル表参照	-
4	20-4542■□◆†	Oリング(シリコン)赤	1
4a	20-6473□◆	Oリング(EPR)紫	-
5	20-6296■□◆†	Oリング(シリコン)赤	1
5a	20-6474□◆	Oリング(EPR)紫	-
6	20-5919□◆	Oリング(EPR)	1
7	102-3604	ヘッドインサート	1
8	102-2447●◆†	主剤シート(プラスチック)	1
9	102-2505◆	シール	1
10	102-2504	ヘッドマシニング	1
11	102-2410◆	主剤ニードル組	1
12	102-2412	主剤ニードルサブ組	1
13	102-2411□◆†	主剤ニードルパッキン	1
14	102-2613	スプリング	1
15	102-2419	主剤パッキンナット	1
16	102-2428	コンベックスナット	2
17	52-487	ロックナット	3
18	102-2448●◆†	硬化剤シート	1
19	102-2420◆	硬化剤ニードル組	1
20	102-2422	硬化剤ニードルサブ組	1
21	102-2421□◆†	硬化剤ニードルパッキン	1
22	102-2612	スプリング	1
23	102-2429	硬化剤パッキンナット	1
24	102-2615	エアアシストバルブ組	1
25	54-2417	パッキンナット	1
26	54-2419▲	パッキン	1
27	54-751	バルブボディー	1
28	54-744▲†	バルブ組	1
29	54-749▲†	エアアシストバルブ組	1
30	54-1964▲†	スプリング	1
31	54-1020	トリガースタッド	1
32	82-126	トリガースクリュー	1
33	102-2489	トリガー	1
34	102-3845	ガード組	1

項番	型番	名称	数量
35	102-3609	バップル	1
37	237-752	プランジャー(表示無し)	1
39	102-2404	ガードスタッド	1
40	20-6295	スクリュー	1
41	54-714	エアブラグ	1
42	102-2402	ハンドル	1
43	102-2435	主剤入口	1
44	102-2440	硬化剤入口/フィルター組	1
45	102-2442	硬化剤入口チューブ	1
46	20-4858▼◆†	Oリング(シリコン)	1
47	102-2181▼◆†	フィルタースクリーン	1
48	54-1263	フィルターサポート	1
49	102-2441	硬化剤入口	1
50	102-2403	エアアシスト入口	1
51	102-3608	ヘッドリテーナー	1
52	102-2408◆	ガasket	1
53	102-2427▲†	ガasket	1
54	102-3605	ナイトキャップ	1
55	111-4052	レンチ	1
56	102-2470	チョップパートリガー組	1
57	102-2471	チョップパートリガー	1
58	102-2472	ON/OFF セレクター	1
59	102-2474	ローフリクションワッシャー	1
60	102-2475	スプリングワッシャー	1
61	102-2473	リテーナーナット	1
62	102-2621	チョップパーバルブ組	1
63	20-6631	スクリュー	1
64	20-6663▲	Oリング(NBR)	1
65	102-2652	ステム	1
66	102-2649▲	スプリング	1
67	102-2651	エアバルブボディー	1
68	102-2464▲	バルブ	1
69	20-6502	スクリュー	1
70	102-3335▲	シール	1
71	102-2467	チョップパーエア入口	1
72	20-3111	プラグ 1/8NPT	1

▲:106-1172 エアバルブリペアキットに含む

■:106-1173 Oリングキット(各 15)に含む

●:106-1174 ソフトシートキットに含む

▼:106-1175 硬化剤フィルターリペアキットに含む

□:106-1251 ソフトシールキット

◆:106-1252 フルイドリペアキット

追加項目(表示されず)、106-1252 フルイドリペアキットのみに含む

102-2510◆ 3/8 インチ ダウエルピン

102-2511◆ 1/4 インチ ダウエルピン

102-2438◆ 5/64 インチ ダウエルピン

注:(†)の付いた部品は、数量パックまたは修理キットからのみ入手
できます。

注文番号については修理キットを参照してください。

最小数量については価格表を参照してください。

アクセサリ

102-2478 3/8 インチ NPS 主剤入口組

102-2446 硬質主剤シート

工具リスト

3/16 インチ イグニッションレンチ

5/16 インチ イグニッションレンチ

3/8 インチ レンチ

7/16 インチ レンチ

9/16 インチ レンチ

3/16 インチ 六角キー

2 フラットスクリュードライバー

7/32 インチ イグニッションレンチ

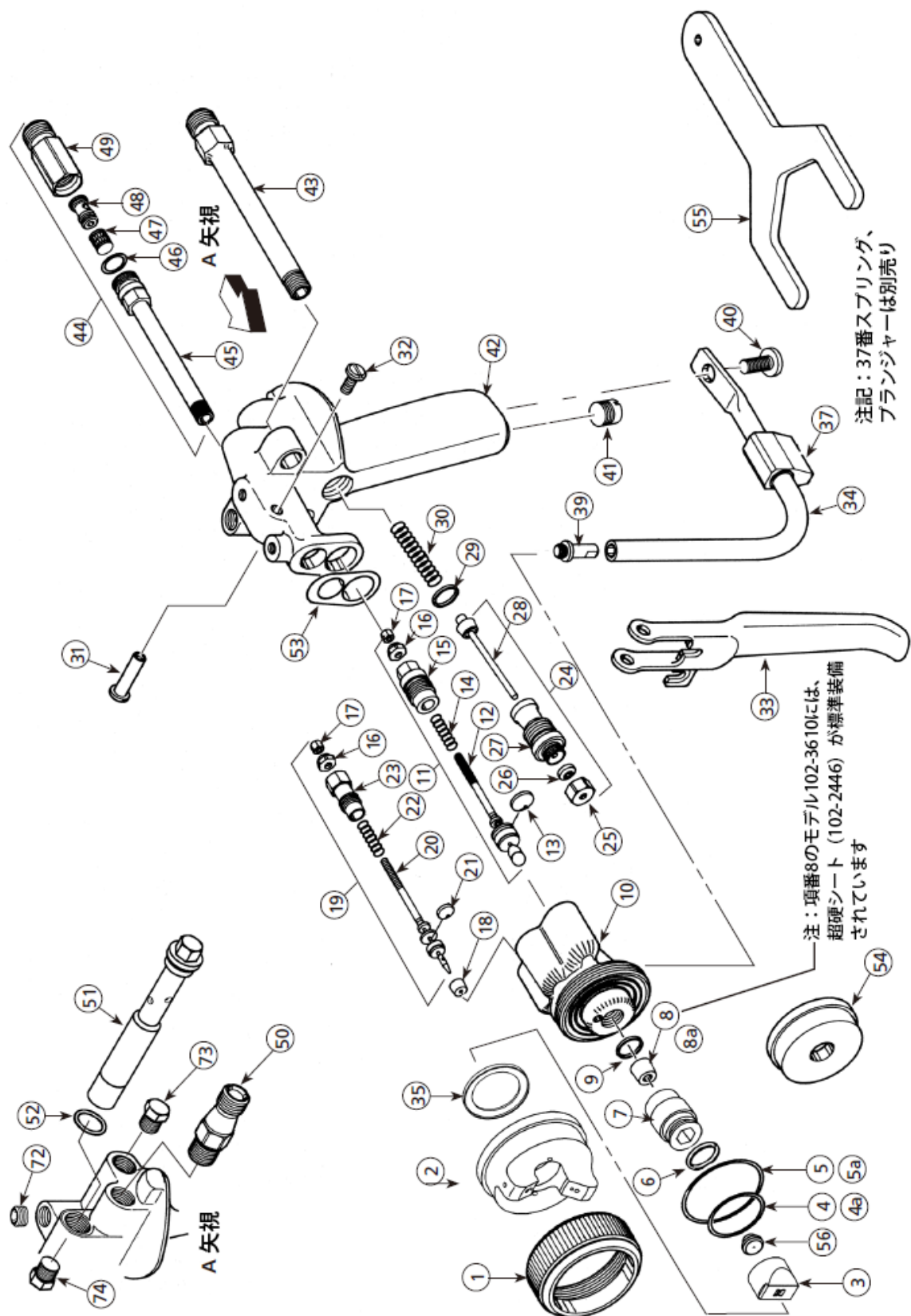
1/4 インチ 六角キー

型式:102-3650ガン

パーツリストは、次の点を除いて上記と同じです。

項番	型番	名称	数量
8	102-2446	硬質主剤シート	1
43	102-2478	3/8主剤入口チューブ	1

102-3610 センチュリーLELガン



型式 102-3610 ガン 部品表

項番	型番	名称	数量
1	102-2434	エア／硬化剤キャップ リテーナーリング	1
2	102-3607	エア／硬化剤キャップ組	1
3		フルイドノズル表参照	-
4	20-4542■□◆†	Oリング(シリコン)赤	1
4a	20-6473□◆	Oリング(EPR)紫	-
5	20-6296■□◆†	Oリング(シリコン)赤	1
5a	20-6474□◆	Oリング(EPR)紫	-
6	20-5919□◆	Oリング(EPR)	1
7	102-3604	ヘッドインサート	1
8	102-2446◆	主剤シート(カーバイド)	1
9	102-2505◆	シール	1
10	102-2504	ヘッドマシニング	1
11	102-2410◆	主剤ニードル組	1
12	102-2412	主剤ニードルサブ組	1
13	102-2411□◆†	主剤ニードルパッキン	1
14	102-2613	スプリング	1
15	102-2419	主剤パッキンナット	1
16	102-2428	コンベックスナット	2
17	52-487	ロックナット	3
18	102-2448◆†	硬化剤シート	1
19	102-2420◆	硬化剤ニードル組	1
20	102-2422	硬化剤ニードルサブ組	1
21	102-2421□◆†	硬化剤ニードルパッキン	1
22	102-2612	スプリング	1
23	102-2429	硬化剤パッキンナット	1
24	102-2615	エアアシストバルブ組	1
25	54-2417	パッキンナット	1
26	54-2419▲	パッキン	1
27	54-751	バルブボディ	1
28	54-744▲†	バルブ組	1

▲:106-1172 エアバルブリペアキットに含む
 ■:106-1173 Oリングキット(各 15)に含む
 ▼:106-1175 硬化剤フィルターリペアキットに含む
 □:106-1251 ソフトシールキット
 ◆:106-1252 フルイドリペアキット

追加項目(表示されず)、106-1252 フルイドリペアキットのみに含む

102-2510◆ 3/8 インチ ダウエルピン
 102-2511◆ 1/4 インチ ダウエルピン
 102-2438◆ 5/64 インチ ダウエルピン

注:(†)の付いた部品は、数量パックまたは修理キットからのみ入手
 できます。
 注文番号については修理キットを参照してください。最小数量につ
 いては価格表を参照してください。

項番	型番	名称	数量
29	54-749▲†	エアアシストバルブ組	1
30	54-1964▲†	スプリング	1
31	102-2465	トリガースタッド	1
32	82-126	トリガースクリュー	1
33	102-2489	トリガー	1
34	102-3845	ガード組	1
35	102-3609	バップル	1
37	237-752	プランジャー(表示無し)	1
39	102-2404	ガードスタッド	1
40	20-6295	スクリュー	1
41	54-714	エアブラグ	1
42	102-2402	ハンドル	1
43	102-2435	主剤入口	1
44	102-2440	硬化剤入口/フィルター組	1
45	102-2442	硬化剤入口チューブ	1
46	20-4858▼◆†	Oリング(シリコン)	1
47	102-2181▼◆†	フィルタースクリーン	1
48	54-1263	フィルターサポート	1
49	102-2441	硬化剤入口	1
50	102-2403	エアアシスト入口	1
51	102-3608	ヘッドリテーナー	1
52	102-2408◆	ガasket	1
53	102-2427▲†	ガasket	1
54	102-3605	ナイトキャップ	1
55	111-4052	レンチ	1
56	102-3611-30	プリオリフィス	2
	102-3611-40	プリオリフィス	2
72	20-3111	プラグ 1/8NPT	1
73	102-3834	プラグ	1
74	102-3833	プラグ	1

アクセサリ

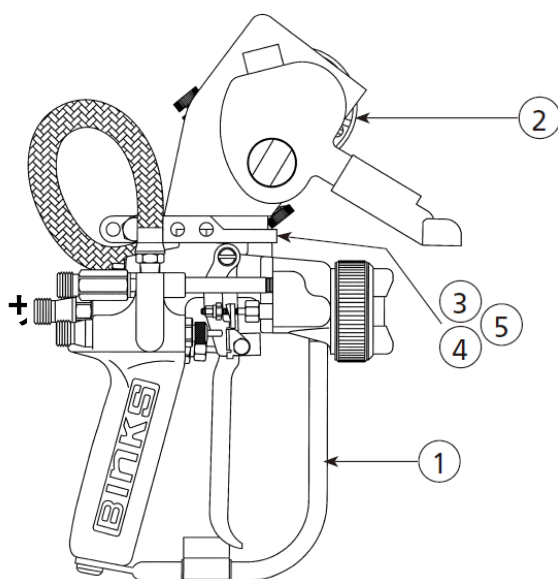
102-2478 3/8 インチ NPS 主剤入口組(項番 43 のオプション)
 102-2447 軟質主剤シート

工具リスト

3/16 インチ イグニッションレンチ
 5/16 インチ イグニッションレンチ
 3/8 インチ レンチ
 7/16 インチ レンチ
 9/16 インチ レンチ
 7/32 インチ イグニッションレンチ
 3/16 インチ 六角キー
 2 フラットスクリュードライバー
 1/4 インチ 六角キー

チョッパー組付きセンチュリーLEL ガン

102-3655 & 102-3665 センチュリーLELガンとチョッパー組



項番	型番	名称	102-3655	102-3665
1A	102-3600	センチュリーLEL ガン	1	-
1B	102-3650	センチュリーLEL ガン	-	1
2	201-510	カッター組	1	1
3	102-2661	カッターマウントブラケット	1	1
4	20-6154	フラットヘッドスクリュー	1	1
5	20-1374	フラットヘッドスクリュー	1	1

準備手順

102-3600 & 102-3650 ガン

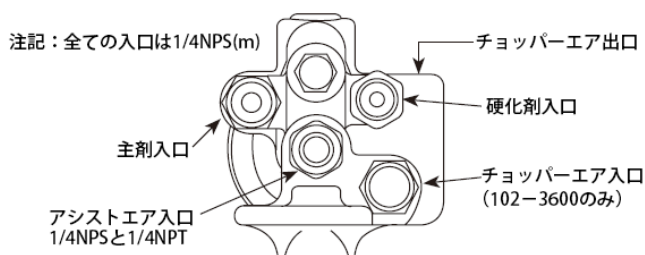
1. エアホースを接続して吸気口 (50) を補助し、しっかりと締めます。十分な噴霧を提供するためにレギュレータ圧をエア/硬化剤キャップ (0.07~0.17MPa) に設定する。
2. 液用ホースを主剤ポンプから主剤入口 (43) に接続し、確実に締め付けます。ホースの長さ、フィルターの使用などに応じて、0.9~2.8MPa で主剤を供給するようにポンプを設定します。
3. 硬化剤ホースを硬化剤入口/フィルタアセンブリ (44) に接続し、しっかりと締めます。
4. チョッパー (102-3655 と 102-3665 ガン) を使用する場合は、チョッパーエアホースをチョッパーエア入口 (71) に接続し、しっかりと締めます。
5. 主剤ニードル (16 と 17) の 2 つのナットをゆるめ、トリガーが主剤ニードルと同時に作動させるように動かします。ナットを締めてください。
6. ガンの前面に主剤ノズルとエア/硬化剤キャップを取り付け、エア/硬化剤キャップ保持リングを締めます。リテーナーリングを強く締め付ける必要はありません。ガンヘッドの前面の O リングを圧縮するのに十分な力にしてください。

102-3610 ガン

1. エア入口 (50) を抑えエアホースを接続し、しっかりと締めます。エア/硬化剤キャップ (0.17~0.52MPa) に十分な霧化および成形空気を供給するように、レギュレータ圧を設定します。
2. 液体ホースを主剤ポンプから主剤入口 (43) に接続し、確実に締め付けます。ゲルコート of 厚さ、ホースの長さなどに応じて、2.8~6.3MPa でゲルコートを供給するようにポンプ圧を設定します。
3. 硬化剤ホースを硬化剤入口/フィルタアセンブリ (44) に接続し、しっかりと締めます。
4. 主剤ニードル (16 と 17) の 2 つのナットをゆるめ、トリガーが主剤ニードルと同時に作動させるように動かします。ナットを締めてください。
5. ガンの前面に主剤ノズルとエア/硬化剤キャップを取り付け、エア/硬化剤キャップ保持リングを締めます。リテーナーリングを強く締め付ける必要はありません。ガンヘッドの前面の O リングを圧縮するのに十分な力にしてください。

ガンハンドル

ガン後部



注意事項

リテーナーリングを締める前に、フルイドノズルとエア/硬化剤キャップのフラット部が正しく位置合わせされていることを確認してください。適切に取り付けられると、フルイドノズルの前面がエア/硬化剤キャップ「耳」と並び、エア/硬化剤キャップの後部がガンヘッドの O リングに接触します。

操作手順

新しいピンクス“センチュリーLEL ガン”は、適切に操作されている限り、優れた性能を提供します。ガン进行操作する前にこれらのセクションを読んでください。

注意事項

ガンが動作していないときはいつでも、トリガー (33) を前方に回して回転させ、ロックブロック (38) を上向きに回転させてトリガロックを設定します。

主剤/ゲルコートのための流体/空気圧力設定

センチュリーLEL ガンで最大の効率と最適な粒子サイズを得るには、流体圧力と空気圧を適切なスプレーパターンのサイズと形状にできるだけ近い圧力に下げることがあります。この操作に必要な材料の適切なパターン幅および適切な吐出量を出す流体ノズルを見出すために、いくつかのテストが必要な場合があります。

通常、充填剤のない主剤の場合、適切なパターンに必要な流体圧力は 0.9～1.6MPa になります。充填剤のある主剤に必要な流体圧力は、通常 1.6～2.8MPa に高くなります。ゲルコートチップのオリフィスサイズは主剤チップよりもはるかに小さいので、適切なパターンを提供するためにはより高い圧力が必要である。典型的には、標準ゲルコートには 2.8～4.2MPa が必要であり、4.9～6.3MPa までの圧力は低 HAP ゲルコートに必要とされます。

102-3600 ガンと 102-3650 ガンの場合、エアは硬化剤を噴霧し、ノズルの外側の主剤シートに加えるためにのみ使用されます。したがって、これを達成するために必要なエア圧は、レギュレータでは通常 0.07～0.17MPa と低くなります。適切な硬化剤噴霧を生成するのに十分なエアを使用してください。多すぎるエアを使用すると、主剤シートが乱されてスチレン排出量が増加します。102-3610 ゲルコートガンでは、エアを使用して硬化剤を噴霧し、流体ノズルを出るゲルコートパターンを成形するので、より高い圧力が必要とされます。成形エアを効果的にするために、使用される圧力は、レギュレータで 0.1～0.52MPa の範囲です。

スプレーパターンの最適化

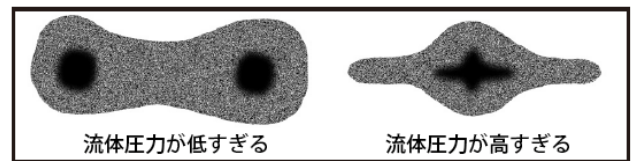
102-3600 & 102-3650 ガン:

トリガーロックを解除します。スプレーパターンをチェックするために引き金を引きます。非常に狭いパターンまたは太いテール (図を参照) は、通常、使用されている先端の流体圧力が低すぎることを示しています。流体圧力を徐々に増加させ、テールを減少させます。流体圧力を上げすぎ、流量が多くなりすぎる場合は、小さなチップを使用してください。使用されるエア圧は、硬化剤を微細に霧化するのに必要なだけで十分です。液体圧力が高すぎると (図を参照)、過剰スプレー、主剤のミスト化、排出ガスの増加を招き、不適正な操作につながる可能性があります。正しいパターンが得られるまで流体の圧力を下げてください。

102-3610 ガン:

まずシェーピングエア圧力を非常に低くしてから、ガンを作動してスプレーパターンをチェックします。非常に狭いパターンまたは太いテール (図を参照) は、通常、使用されている先

端の流体圧力が低すぎることを示しています。パターンがより広くエッジが減少するまで流体圧力を上げます。流体圧力を上げ流量が多くなりすぎる場合は、小さなチップを使用してみてください。液体圧力が高すぎると (図を参照)、オーバースプレー、ゲルコートのミスト化、非コンプライアントな操作につながる可能性があります。パターンがかなり均一であるにもかかわらず、わずかな「テール」がある場合、テールが除去され、スプレーパターンの中心にシフトするまで、成形エア圧を増加させ、スプレーパターンを最適化させます。使用されているチップおよびゲルコートについては、将来の参照のためにこれらの圧力を書き留めてください。



操作上の注意

1. ガンとモールドの間の適切な距離は 30～45cm です。距離が長くなると、オーバースプレーが発生し、排出ガスが増加します。
2. LEL ガンはオンまたはオフのいずれかです。エア霧化ガンと異なり、LEL ガンではフェザリングはできません。
3. 金型に付着した材料は常に均一でなければならない。各ストロークは以前のストロークと半分以下のオーバーラップが必要です。均一なカバーレッジは、「クロスハッチング」ストロークによって最もよく達成されます。

スーパースレーブへの流量の検証

1. 硬化剤および主剤の比を設定するには硬化剤ポンプを動かし、スレーブアームアセンブリ上のラベルにある割合に設定する。
2. アシストエアをオフにして、エア/硬化剤キャップをガンに取り付けます。

チョップパートリガー操作

(102-3825 および 102-3835)

センチュリーLEL ガンには特別なチョップパトリガ (56) が装備されています。このデバイスは簡単なオン/オフ機能と、ガンのトリガーを引くことなくチョップパーを作動/充填できます。チョップパートリガーを「オン」位置に設定するには、オン/オフセレクター (58) を時計回りに回転させます。チョップパートリガーを「オフ」位置に設定するには、オン/オフセレクターを反時計回りに回転させるだけです。ガンのトリガーを引くことなくチョップパーを作動させるには、右手のガンでオン/オフセレクターを「オン」に設定し、チョップパートリガーサブアセンブリー (57) のトリガーパッドに右人差し指を置き、チョップエアバルブ (62) がかみ合うまでチョップパートリガーを引きます。

ピンクス“センチュリーLELガン”推奨スペアパーツ

型式	必要量	名称
118-8XXY	1	フルイドチップ(アプリケーションによりサイズ決定) XX:1000 分の 1 のオリフィスサイズ Y:オリフィス角。N :狭い、S :標準、W :ワイド
106-1251		スペアパーツキット(O リング 2 セット、パッキン 1 セット)
106-1252	1	リペアキット、フルイドバルブ/シート
106-1172	1	リペアキット、エアバルブ
106-1173	15 セット	キット、ノズル O リング (20-4542、20-6296)
106-1174		軟質シートキット(主剤 10、硬化剤 5)
106-1175	5 セット	硬化剤フィルターリペアキット
102-3602	1	エア/硬化剤キャップ組、FRP
102-3607	1	エア/硬化剤キャップ組、ジェルコート
102-3605	1	ナイトキャップ

一般保守

日常点検

- ガンヘッド O リング(4&5)にキズがないか点検し、必要に応じて交換します。
- フルイドニードル(11 および 19)に材料の漏れがないか点検します。漏れが止まるまで、フルイドパッキンナットを締めてください。漏れが止まらない場合は、ニードルパッキンまたはニードルを交換してください。
- ヘッドのインサート O リング(6)が摩耗していないか点検し、必要に応じて交換します。
- システムのフィルターを点検し、必要に応じて清掃します。

注意事項

溶剤に O リングを浸さないでください(膨潤します)。

フルイドノズルの洗浄

- ロッキングブロック(38)を上向きに回してトリガ(33)をロックします。
- ポンプと供給エアを遮断します。
- システム全体の流体圧力を逃がします。
- エア/硬化剤キャップリテーナリング(1)を外し、エア/硬化剤キャップ(2)とフルイドノズル(3)を取り外します。

注意事項

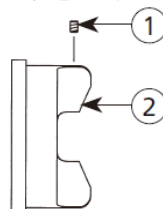
鋭利な工具で先端を掃除するときは注意してください。ノズルの穴が損傷すると、スプレーパターンが壊れる可能性があります。

- 乾燥した材料または硬化した材料を除去するために、溶媒中に先端を沈めます。
- 先端を通して前方から後方にエアを吹き付け、付着した異物を除去します。先端から光を照らしてオリフィスをチェックして、オリフィス形状がはっきりしていることを確認します。

エア/硬化剤キャップ組の洗浄

エア/硬化剤キャップ組内の硬化剤ポートが詰まる場合、以下のようにして洗浄することができます。

- 1/16 インチの六角レンチを使用して、エア/硬化剤キャップの後部から止めねじ(20-6910)を外します。
- 異物を取り除きます。



- エア/硬化剤キャップの止めねじとねじをきれいに掃除します。
- 少量の中程度の強度(青色)のロックタイトをセットされたネジ山に付けます。セットスクリューの端部がエア/硬化剤キャップの外側と面一になるまで、セットスクリューをエア/硬化剤キャップに通します。余分なロックタイトを拭き取ってください。
- ロックタイトが固まるまで 24 時間待ちます。組本体を加熱することによって硬化を促進することができます。

硬化剤インレット/フィルター組

- ポンプと供給エアを遮断します。
- システム全体から圧力を抜きます。
- ガンから硬化剤ホースを取り外します。
- 9/16 インチレンチと 7/16 インチレンチを使用して、チューブ組(45)から材料入口(49)を外し、フィルタースクリーン(47)を出します。
- フィルタースクリーンの異物付着や破損を点検します。
- フィルタースクリーンを清掃または交換する必要がある場合は、フィルタサポート(48)を指で外し、フィルタースクリーンをスライドさせて清掃または交換します。
- チューブ組の O リング(46)に破損がないか点検し、必要に応じて交換します。
- 逆の順序で組み立てをします。

夜間停止

- ポンプを(下の位置に)下げた状態で供給エアを遮断します。
- システム全体からの圧力を抜きます。
- エア/硬化剤キャップリテーナリング(1)を取り外し、エア/硬化剤キャップ(2)とフルイドノズル(3)を取り外します。

- ガンヘッド(10)の溝から2つのOリング(4&5)を取り外します。Oリングに傷がないか点検し、必要に応じて交換してください。ヘッドインサートの内側を溶剤で洗ってください。
- 溶剤を浸した布でガンヘッドの表面を拭き取ります。
- ガンヘッドの前面に O リングを取り付け、ナイトキャップ(54)をガンヘッドの上に置き、ナイトキャップの大きな面がOリングを同じようにガンヘッドに引っかけるようにします。多くの場合、潤滑剤はシャットダウン時に O リングやヘッドを保護します。ヘッドインサートに置かれた石油ゼリーは、残留ゲルコートが乾燥するのを防ぐのに役立ちます。
- エア/硬化剤キャップのリテーナーリングをナイトキャップにしっかりとガンヘッドにねじ込みます。締めすぎないでください。
- エア/硬化剤キャップを溶剤で湿らせた布で拭き、溶剤に入れます。エア/硬化剤キャップの底面に引っかからないように十分注意してください。使用中に硬化剤が漏れてしまいます。

消耗部品の交換

注意事項

以下の手順を行う前に、ピンクス“センチュリーLELガン”の分解や操作を行わないでください。

- 流体ポンプと空気供給を遮断します。
 - ガンとシステム全体の流体圧力を逃がします。
 - 流体ホースからガンを取り外します。
- これらの手順を守らない場合は、作業者や周囲の人員を傷つける可能性があります。

硬化剤ニードルパッキンの交換

- 2つの標準ドライバーを使用して、トリガースタッド(31)、トリガースクリュー(32)、トリガー(33)、およびチョップパートリガー組(56)を取り外します。
- 3/8 インチレンチで硬化剤パッキンナット(23)を緩め、ガンヘッドから出るまで硬化剤ニードル組(19)をまっすぐに引き戻します。針を上下に曲げずに引っ張り出してください。左右に曲げると破損することがあります。
- パッキン(21)をはっきりと識別できるように、ニードルア組を清掃します。
- パッキンは、ニードル組の唯一の非金属片であり、白色である。ニードルのワイヤー上の位置と向きに注意してください。磨耗したパッキンを鋭利なナイフで切って、近くの部品に傷や変形を与えないようにしてください。
- 慎重に端から1mmに新しいパッキンを広げます(精密タイプのナイフを使うことをお勧めします)。同じ位置と向きでニードル組のワイヤーにパッキンを押し込みます。ステップ4で、指で閉じたパッキンを軽く絞ってください。

注意事項

パッキンの円錐面は、ニードル組のチップの方を向いている必要があります。

- 指でパッキンを前後にスライドさせて、ワイヤーに適切にはめ込まれているかを確認します。
- 逆の順序で組み立てをします。

硬化剤シートの交換

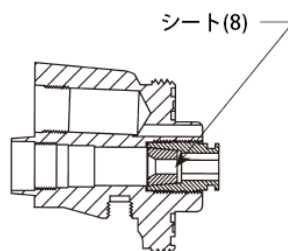
- 「主剤ニードルパッキンの交換」の手順1~4を繰り返します。
- 3/8 インチレンチで硬化剤パッキンナット(23)を緩め、ガンヘッドから出るまで硬化剤ニードル組(19)をまっすぐに引き戻します。ニードルを上下に曲げずに引っ張り出してください。左右に曲げると、ニードルが破損することがあります。
- ガンヘッドの後部を表面に向けて平らな清潔な表面にガ

ンヘッドを置きます。これには、ガンヘッドの背面のアライメントコーンが何にも当たらないように、表面に穴または凹部が必要です。

- 5/64 インチのダウエルピン(リペアキット106-1252で入手可能)をガンヘッドの中央溝の穴に合わせ、ダウエルピンをまっすぐに穴に差し込みます。硬化剤シート(18)に着座すると、3つの大きな溝を有するガンヘッドの表面から約5mmになります。シートを押し出します。これは、ドリルプレスまたはアーバープレスで最も簡単に行えます。
- ガンヘッドの前面を平らな清潔な面に置き、3つの大きな溝を持つガンヘッドの面が平らな面に着座するようにします。これには、ガンヘッドの前部ボスがぶつからないような穴または凹部が必要です。直径25mm×深さ25mm程度の孔で十分です。
- 新しい硬化剤シートを硬化剤ニードル組が出てきたガンヘッドの穴に入れます。硬化剤シートの小さな端が先に入ります。シートがガンヘッドに落ちるはずですが。
- シートは、硬化剤シートと保持するガンヘッドの壁との間に緊密な嵌合が形成されるように、所定位置に押し込まれます。シートをしっかりと押し込むには、直径6mmのダウエルを使用します。ガンヘッドの壁に傷を付けないように注意してください。この作業には、ドリルプレスまたはアーバープレスが最適です。
- 逆の順序で組み立てをします。

主剤シートの交換

- エア/硬化剤キャップリテーナーリング(1)、エア/主剤キャップ(2)、フルイドノズル(3)、および2つのOリング(4および5)をガンヘッドから取り外します。
- トリガー(33)を引いて、シート(8)からニードルを離し、トリガーをロックブロック(38)でロックします。1/4 インチの六角キーを使用して、ヘッドインサートを約3回転ほど緩めて、ガンヘッドに約3回転の接触を残します。



- ヘッドインサートの前面に1/4インチダウエルピンを差し込み、ヘッドインサートからシートを押し出します。ヘッドインサートを1/4インチの六角キーで取り外して、シート

が脱落するのを防ぎます。シール(9)を取り外し、新しいシールと交換してください。

代替方法: ヘッドインサートを完全に取り外してから、シートを押し出します。ヘッドインサートは、シートすきまが抜け落ちるように、直径が 10.4mm から 12.4mm の間の穴を中心とする平坦な面に置きます。

4. ヘッドインサートの前面を平らな面に置きます。
5. 新しい主剤シートをヘッドインサートの先細の穴に入れます。主剤シートの小さな端を先に入れます。シートは、主剤シートとそれを保持するヘッドインサートの壁との間に緊密な嵌合が形成されるように、所定位置で押圧される必要があります。シートをしっかりと押すために、直径 3/8 インチのダウエルピン(修理キット 106-1252 で入手可能)を使用してください。ドリルプレスまたはアーバプレスがこの操作に最適です。
6. 逆の順序で組み立てをします。

主剤ニードルパッキンの交換

1. 3/16 インチ六角レンチを使用してガードアセンブリ(34)を保持しているボタンヘッドネジ(40)を取り外し、ガードアセンブリを取り外します。
2. 2 本の標準ドライバーを使用して、トリガースタッド(31)、トリガースクリュー(32)、トリガー(33)、およびチョップパートリガーアセンブリ(56)を取り外します。
3. 3/8 インチレンチまたはソケットを使用して、ヘッドリターナー(51)を取り外します。
4. ガンヘッド(10)を手で動かし前方にスライドさせます。過度の力を加えないでください。
5. 3/8 インチレンチで主剤パッキンナット(15)を外し、ガンヘッドから出るまで樹脂製のニードルアセンブリ(11)をまっすぐに引き上げます。ニードルを上下に曲げることなく引き出します。左右に曲げると、ニードルが曲がって破損します。
6. パッキン(13)をはっきりと識別できるように、ニードル組を清掃します。
7. パッキンは、ニードル組の唯一の非金属片であり、白色である。ニードルのワイヤー上の位置と向きに注意してください。磨耗したパッキンを鋭利なナイフで切って、近くに部品に傷や変形がないようにしてください。
8. 慎重に端から 1mm に新しいパッキンを広げます。(精密タイプのナイフを使うことをお勧めします。)同じ位置と向きでニードル組のワイヤーにパッキンを押し込みます。ステップ 4 で、指で閉じたパッキンを軽く絞ってください。

注意事項

パッキンの円錐面は、ニードル組のチップの方を向いている必要があります。

9. 指でパッキンを前後にスライドさせて、ワイヤーに適切にはめ込まれているかを確認します。

10. 逆の順序で組み立てを行います。

主剤ニードル組の交換

1. 上記の「主剤ニードルパッキンの交換」のセクションの手順 1 から 5 を繰り返します。
2. 摩耗したニードル組を新しいニードル組に交換します。
3. 逆の順序で組み立てを行います。

硬化剤ニードル組の交換

1. 上記の「硬化剤ニードルパッキンの交換」のセクションの手順 1 と 2 を繰り返します。
2. 摩耗したニードル組を新しいニードル組に交換します。
3. 逆の順序で組み立てを行います。

エアアシストバルブ組の修理

1. 「主剤ニードルパッキンの交換」のセクションの手順 1 と 2 を繰り返します。
2. 9/16 インチスパナを使用して、エアアシストバルブ組(24)、シール(29)、およびスプリング(30)を取り外します。
3. 本体(27)からナット(25)を取り外します。パッキン(26)は、必要に応じて交換することができます。
4. バルブ組(28)を取り外し、必要に応じて交換します。
5. 必要に応じてスプリングを交換します。シールを交換し、逆の順序で組み立てを行います。

チョップパーエアバルブ組の修理

1. 「主剤ニードルパッキンの交換」のセクションの手順 2 を繰り返します。
2. 9/16 インチレンチを使用して、ハンドル(42)からチョップパーバルブ組(62)を取り外します。
3. 小型ドライバーを使用して、チョップパーバルブシステム(65)からスクリュー(69)を取り外します。
4. エアバルブ本体(67)に取り付けられた部品を使用して、ネジ(63)を手で引っ張って取り外します。
5. システム(65)から O リング(64)を取り外して交換します。
6. エアバルブ本体の O リングと内面にワセリンを塗布します。
7. チョップパーエアバルブを逆の順序で組み立てを行います。

注意事項

滑らかな動作を確保するためには、チョップパーエアバルブ組の定期的な潤滑が必要です。

BINKS® ビンクス PCE 事業部
CFT ランスバーク 株式会社

本 社 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-15-5

TEL: 045-785-6378 FAX: 045-785-6517

<http://www.carlisleleft.co.jp/>

CARLISLE
FLUID TECHNOLOGIES

©2016 Carlisle Fluid Technologies.

®BINKS is registered trademark of Carlisle Fluid Technologies.